

新・マスタープラン評価結果一覧表

事業評価の概要											
1次評価						2次評価					
効 率 性 評 価	A 非 常 に 高 い	B 高 い	C 普 通	D 低 い	E 非 常 に 低 い	方 向 性 評 価	拡 充	維 持	終 了 (完了)	改 善 ・ 見 直 し	縮 小
							今 ま で 以 上 に 力 を 入 れ て 事 業 に 取 り 組 む こ と が 適 当	今 ま で ど お り 事 業 に 取 り 組 む こ と が 適 当	事 業 ・ 取 り 組 み は 終 了 し た	事 業 内 容 の 改 善 や 見 直 し を 検 討 し 取 り 組 む こ と が 適 当	事 業 の 取 組 み 規 模 を 縮 小 す る こ と が 適 当

施 策	事業・取り組み	1次評価			2次評価						
		効 率 性	有 効 性	方 向 性	経 営 審 議 会 総 評						
I 水質管理の充実・強化	I-1 水源水質の監視	B	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。						
	I-2 水安全計画の充実・適切な運用	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。						
	I-3 水質管理体制の強化	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。						
	I-4 新潟市独自の管理目標による水質管理	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。						
	I-5 分かりやすい水質情報の提供	B	A	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。						
II 給水装置における水質保持	II-1 学校施設の水飲み水栓の直結給水化	C	B	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。						
	II-2 貯水槽清掃率向上に向けた新たな啓発活動の検討・実施	B	B	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。						
	II-3 指定給水装置工事事業者の技術力向上	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。						
III 水道施設の計画的更新	III-1 浄配水施設の計画的更新	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。						
	III-2 管路施設の計画的更新	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。						
	III-3 鉛給水管の計画的更新	C	B	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。						
IV 震災対策・体制の強化	IV-1 浄配水施設の計画的耐震化	C	A	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。						
	IV-2 管路施設の計画的耐震化	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。						
	IV-3 重要施設向け配水管の耐震化	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。						
	IV-4 配水管網のブロック化の推進	B	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。						
	IV-5 大ブロック間の相互連絡管の整備	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。						
	IV-6 事故・災害時における復旧体制の強化	B	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。						
V 経営基盤の強化	V-1 アセットマネジメントによる適正な資産管理	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。						
	V-2 定員・給与の適正化	C	B	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。						
	V-3 業務効率化に向けた民間委託の検討・実施	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。						
	V-4 遊休資産の有効活用	C	D	改善・見直し	太陽光発電事業者への有償貸付は未実施であったが、遊休資産の有効活用は、経営基盤の強化を図るために有効な事業である。 また、遊休資産保有によりコストが発生している場合、早めの売却判断も必要であることから、売却も視野に入れた有効活用について、幅広い知見、情報収集、調査・研究を進め、財政基盤の強化に努めること。						
	V-5 時代に即した料金制度等の検討・実施	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。						
	V-6 水道事業経営審議会の効果的運用	B	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。						
VI 積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	VI-1 積極的な広報の実施	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。						
	VI-2 お客さまの意見・要望の把握	B	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。						
	VI-3 分かりやすい経営情報の開示	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。						
	VI-4 放射性物質を含む浄水汚泥の適切な管理と情報提供	B	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。						
VII 技術・知識を有する人材の確保と育成	VII-1 人材育成と専門性の強化	C	B	維持	太陽光発電事業者への有償貸付は未実施であったが、遊休資産の有効活用は、経営基盤の強化を図るために有効な事業である。 また、遊休資産保有によりコストが発生している場合、早めの売却判断も必要であることから、売却も視野に入れた有効活用について、幅広い知見、情報収集、調査・研究を進め、財政基盤の強化に努めること。						
	VII-2 諸外国との水道技術研究交流	C	A	維持	大切な水環境は世界的な問題であることも認識し、情報収集に努めるとともに、新潟市水道局としての技術を生かすことを含め、引き続き、計画に沿って事業を推進すること。						
VIII 環境に配慮した事業運営	VIII-1 建設副産物の再利用促進	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。						
	VIII-2 水道局環境計画の策定と推進	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。						